

ツキノワグマの特徴

体長：120～145cm
 体重：40～130kg
 視力：あまり良くない
 聴力：非常に優れている
 嗅覚：人の気配も嗅いで識別できる



食べものは

雑食性ですが、おもに山菜や木の実などの植物が中心です。特に好きなのは、春はブナの花、夏はアリやハチ類、秋はブナやクリ、クルミなどの木の実などです。

行動範囲は

クマは大人になると30～70平方キロメートルの行動範囲をもっています。白山では1日に3キロメートルも移動した例があります。

よく集まる場所は

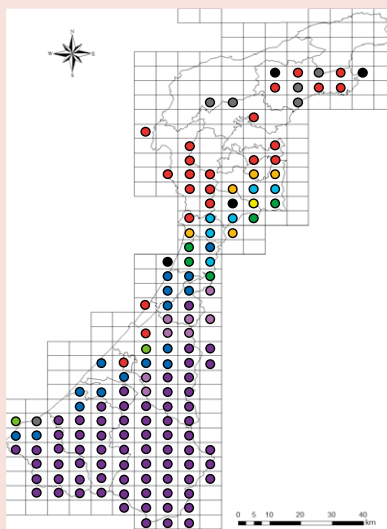
春は、沢沿い、初夏はサクラの実、夏はノイチゴの多い林やアリやハチの巣のあるところ、秋はクルミ、ドングリ、ヤマブドウなどの木の実の多い森です。人里近くの果実を食べるために出沒することもあります。

活動する時間帯は

夏、一日の中で活発に活動するのは朝夕です。春、秋は昼もよく活動しています。人家の近くへは、夜間にやってくることもあります。

石川県での分布

県内に約1,050頭が生息している。
 (H28～29の調査)



凡例

- ～昭和54年までの生息地域
- ～平成15年までの生息拡大地域
- 平成16年新規出沒地域
- 平成17～18年新規出沒地域
- 平成19～20年新規出沒地域
- 平成21～22年新規出沒地域
- 平成23～24年新規出沒地域
- 平成25～26年新規出沒地域
- 平成27～28年新規出沒地域
- 平成29～30年新規出沒地域
- 令和元年新規出沒地域

相談・お問い合わせ先

●クマの出沒、農林産物等の被害に関すること
 市役所、町役場の環境または農林などの担当課

市町名	担当課	電話番号
小松市	農林水産課	0761-24-8081
加賀市	農林水産課	0761-72-7884
能美市	農林課	0761-58-2256
川北町	産業経済課	076-277-1111
白山市	林業水産課	076-272-1965
野々市市	産業振興課	076-227-6081
金沢市	森林再生課	076-220-2217
かほく市	産業振興課	076-283-7105
津幡町	農林振興課	076-288-6704
内灘町	地域産業振興課	076-286-6708
七尾市	農林水産課 鳥獣被害対策室	0767-53-8422
羽咋市	農林水産課	0767-22-1116
志賀町	農林水産課	0767-32-9290
宝達志水町	農林水産課	0767-29-8240
中能登町	農林課	0767-76-2434
輪島市	農林水産課	0768-23-1141
珠洲市	獣害対策室	0768-82-7767
穴水町	地域整備課	0768-52-3670
能登町	農林水産課	0768-62-8524

農林総合事務所		電話番号
南加賀 石川 県央 中能登 奥能登	の各企画調整室	0761-23-1707
		076-276-0528
		076-239-1750
		0767-52-2583
		0768-26-2322

●クマの行動や生態に関すること

- ・石川県白山自然保護センター TEL076-255-5321
- ・石川県林業試験場 TEL076-272-0673

●クマ出沒時の緊急連絡は110番へ

クマによる事故を防ぐために

クマにご注意!!



出沒情報をご連絡ください

連絡先は市役所又は町役場へ。「いつ」「どこで」見かけたか、「何をしていたか」などを、ご連絡ください。集団登下校など迅速な対応に役立ちます。

出沒情報等をご覧いただけます (お寄せいただいた情報は次のホームページから)

石川県 ツキノワグマ 防止

検索

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/kuma/navi01.html>

石川県生活環境部自然環境課

〒920-8580 金沢市鞆月1-1
 TEL：076-225-1477
 FAX：076-225-1479

E-mail：e170500@pref.ishikawa.lg.jp

クマを引き寄せていませんか？

地域でできることは地域ぐるみで
取り組みましょう

林を明るくしよう

集落や通学路近くの林は暗くありませんか？クマは身を隠すヤブがあると平気で人家近くまで出沒します。地域内を点検し、ヤブ刈りし明るくしましょう。また、カキなどの実は放置せず早めにとりましょう。



ゴミは捨てない、置かない

人家のまわりでは、むやみに生ゴミなどを捨てたり、置いたりしないでください。

ゴミにクマは誘われる

野菜くずや魚や肉などの生ゴミは、クマが好んで食べます。ゴミをクマに食べられないように、ゴミ箱とゴミの収集方法に充分気をつけてください。

(養鶏場、養魚場などは特に注意が必要です。)

ゴミの味を覚えたクマは危険！

ゴミの味を覚えたクマは、その周辺に定着します。集落周辺に住みついたクマは危険なため、捕獲されることとなります。

■フン



ハイマツの実を食べたフン



カキの実を食べたフン

クマと出会わないために！

クマは本来、大変臆病でおとなしい動物です。過度に恐れることはありません。人とクマとの出会いを避けることが大切です。

音で知らせよう！

林に入るときは、たとえ人家近くでも鈴やラジオなどの音の鳴るものを身につけ人間の存在をクマに知らせ、クマとの接近や出会いを防ぎましょう。

夕暮れ時は注意！

暗くなるとクマは人と出会う機会が減るということを知っており、エサ探しに夢中になって人間の接近に気づきにくくなります。暗くなる前に山をおり、クマとの出会いを避けましょう。

ゴミは持ち帰ろう

キャンプや登山、つりなどで出たゴミは放置せず、必ず持ち帰ってください。

山野にある墓地の供え物なども持ち帰ってください。

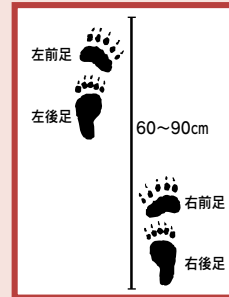
山菜・キノコとり、溪流つりでは…

夢中になっているとクマに近づいてしまうことがあります。茂みにはいるときは十分注意しましょう。また、水音や風向きで、クマも人もお互いに気づきにくくなります。常に周囲に気を配りましょう。

■爪あと



■足あと



もし出会ってしまったら！

落ち着いて行動することが大切です



すみやかに遠ざかりましょう

刺激しないようにし、あわてないで静かに立ち去りましょう。決して走って逃げたりしてはいけません（逃げるものを追いかける習性があります）。

子グマを見かけたら

子グマがいても、かわいいからといって近寄ってはいけません。母グマが必ず近くにいます。危険ですので、速やかに安全なところへ立ち去りましょう。

もし近づいてきたら

大声を出さず、クマの動きに注意しながら、ゆっくりと後退しましょう。